

## 看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、成育看護学講座、地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目は、看護学の導入部であり、かつ各看護専門領域への橋渡しの役割を持っている。具体的には、看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法そして看護職の役割、多職種との存在と連携の重要性等を学び、看護の特徴を理解する。それにより看護を概観でき、今後の学修のイメージをもつことができる。

### ・教育成果（アウトカム）

看護の対象は社会の中で生活を営んでいる人々であり、その人々の健康に関わっていくのが看護職である。どのように人々の健康を守っているのか、看護の歴史の変遷を踏まえ、看護の独自性という視点から、捉えることができるようになる。その上で、保健医療を担うチームの一員として社会的ニーズにどう応えていくべきか、自分なりに考えることができるようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3

### ・到達目標（SBO）

1. 人々の健康で幸福な生活とは、人々のもつ価値観や社会的背景を踏まえて多様であることを理解し尊重できる。
2. 看護職に求められる様々な役割を理解できる。
3. 看護職の法的義務を説明できる。
4. 看護において人々の基本的人権が擁護される状況、擁護のための手段・方法が理解できる
5. 生命、人の尊厳を尊重することができる
6. 看護の定義や目的について説明できる
7. 看護とは何か、歴史の変遷や看護の特徴を学ぶ中で自分なりに表現できる。
8. 人間のライフサイクルと発達について説明できる。
9. 看護職に求められる様々な役割を説明できる
10. 看護においてコミュニケーションが人々との相互関係に影響することを理解できる
11. 保健・医療・福祉における協働の目的と意義、看護職に求められる役割を説明できる。

・ 授業日程

(矢) 東 2-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/17	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の歴史の変遷① ・世界の看護の歴史の変遷のポイントをあげることができる
4/24	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の歴史の変遷② ・日本の看護がどのように発展してきたのかポイントをあげることができる
5/1	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	日本の看護職の現状 - 看護職の資格と養成制度、看護職の就業状況と継続教育の視点から ・看護職の資格と養成制度について説明できる ・看護職がどのような場で活躍しているのか、継続教育はどのようになされているのか説明できる。また課題についてあげることができる
5/8	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	健康とは何か、看護の視点から捉えよう ・健康の持つ意味、健康のレベルにあわせての看護のあり方について述べるができる
5/15	火	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授	看護の対象の理解・・・小児期 ・ライフサイクルの中の小児期の特徴をあげ、小児看護を概観することができる
5/22	火	1	成育看護学講座	蛸崎 奈津子 教授	看護の対象の理解・・・母性 ・女性のライフサイクルの特徴（特に母子の視点から）をあげ、母性看護を概観することができる
5/29	火	1	共通基盤看護学講座	秋山 智弥 特任教授	看護の対象の理解・・・成人期 ・ライフサイクルの中の成人期の特徴をあげ、成人看護を概観することができる

6/4	月	1	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>看護の対象の理解・・・老年期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサイクルの中の老年期の特徴をあげ、老年看護を概観することができる</li> </ul>
6/5	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護の対象の理解・・・家族・集団</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護の対象としての家族・集団の特徴をあげ、家族・集団への看護の必要性を述べるができる</li> </ul>
6/12	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護の機能と役割①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護活動の場の広がり多様化に伴い拡大している看護の役割について述べるができる</li> </ul>
6/19	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護の機能と役割②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉チームにおける看護の役割を述べるができる</li> </ul>
6/25	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方① (ナイチンゲール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の生命力の消耗を最小にするように整えることについて述べるができる</li> </ul>
6/26	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方② (ヘンダーソン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘンダーソンによる看護活動の基本の14の構成要素について、その意味を述べるができる</li> </ul>
7/3	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護実践を支える看護の考え方③ (ペプロウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者 - 看護師関係の発展段階およびそれを発展させる効果的コミュニケーションについてポイントをあげることができる</li> </ul>
7/17	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	<p>看護職に対する社会の期待と責任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理の意義・患者の権利、医療安全と医療保障について述べるができる</li> </ul>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 第 16 版	茂野香おる編集	医学書院	2017
参	看護覚え書-看護であること 看護でないこと	フローレンス・ナイチンゲール	現代社	2011
参	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン	日本看護協会出版会	1995

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

**【事前学修内容及び事前学修時間】**

次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書の該当する部分を事前に読んで授業に臨むこと。授業後には、再び教科書の授業に該当する部分を読み、ポイントをまとめるなど、事後学修で整理すること。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

また、教科書以外の図書にも自己啓発や、看護に役立つ本が多くあり、専門分野以外の本も読んでほしい。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

ビデオ視聴が複数回あり、視聴後に感想の提出を課す。内容は全体としてまとめ、翌週の授業にまとめを資料として配布・コメントし、授業へ生かす。個人評価にはしない。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野 I 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影